

第二十五回 帝國議會 貴族院議事速記録第七號

明治四十二年二月十七日(水曜日)

午前十時六分開議

議事日程 第七號 明治四十二年二月十七日

午前十時開議

第一 侯爵池田詮政君、子爵土御門晴榮君、男爵諫早家崇君請暇ノ件

第二 請願委員長報告

第三 明治四十二年度歳入歳出總豫算案並明治四十二年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件

第四 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件審査期限ヲ定ムルノ件

第五 明治四十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)審査期限ヲ定ムルノ件

第六 明治四十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)審査期限ヲ定ムルノ件

第七 臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ引換期限ニ關スル法律案(議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第八 鐵道速成ニ關スル請願 會 議

第九 足尾銅山鑛毒被害地地價修正漏地價修正ノ請願 會 議

第十 津山米子間鐵道速成ノ請願 會 議

第十一 山陰縱貫鐵道速成ノ請願 會 議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

〔東久世書記官朗讀〕

去ル十三日本院ニ於テ議決シタル政府提出市町村立小學校教育費國庫補助法中改正法律案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

同日衆議院ヨリ左ノ豫算案ヲ受領セリ

明治四十二年度歳入歳出總豫算案並明治四十二年度各特別會計歳入歳出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

明治四十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

明治四十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

昨十六日臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ引換期限ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵大原 重朝君 副委員長 男爵目賀田種太郎君

同日委員長ヨリ臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ引換期限ニ關スル法律案可決報告書ヲ提出セリ

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、議事日程第一、侯爵池田詮政君、子爵土御門晴榮君、男爵諫早家崇君請暇ノ件、池田侯爵ハ病氣ニ付キ三月二十日マデ、土御門子爵ハ病氣ニ付キ十六日間、諫早男爵ハ病氣ニ付キ十二日間ノ請暇デアリマス、何レモ許可ヲ致シテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第二、請願委員長報告

〔三宅秀君演壇ニ登ル〕

○三宅秀君 是ヨリ請願委員會ノ報告ヲ致シマス、請願委員會ハ去ル一月ノ二十五日ニ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒマシテ、引續キマシテ請願委員會ノ日ヲ決メマシテゴザイマス、毎週水曜日ト云フコトニ決メマシテゴザイマス、請願委員會ヲ開キマシタ開會ノ數ハ今日マデニ三回デゴザイマス、今日ハ第四回目ノ會ヲ開キマス日ニ當ッテ居リマスルガ、是ハ議事散會後ニ開キマスル譯ニナッテ居リマス、請願委員ハ例ニ依リマシテ、法制科ト租稅科ト雜科ト此三科ニ分科ヲ致シマシテ、其分科會ヲ開キマシタ回數ハ、總テデ十四回デゴザイマス、法制科ト租稅科ハ各、四回ヅ、開イテ居リマス、雜科ハ審査イタシマスル件數ガ多ウゴザイマスルカラ、是マデニ六回開イテ居リマス、請願文書ノ報告ハ三回マデ出テ居リマス、サウシテ皆様ノ御手ニ渡ッテ居リマス、請願委員會ノ特別報告ハ一號ヲ出シテゴザイマス、是ハ皆サンノ御手許ニ回

ッテ居リマスルシ、今日ノ日程ニ上ボッテ居リマスノハ此特別報告ノ第一號
デゴザイマス、請願書ヲ受領イタシマシタ件數ハ百六、通數ニ致シマシテ百
三十九通ゴザイマス、其内三回ノ文書表ニ掲ゲテゴザイマスル件數ガ八十一
件、通數デ百十四通ゴザイマス、審査ノ結果院議ニ付スベシト議決イタシマ
シタモノガ十一件ゴザイマス、此十一件ノ中ガ特別報告ニ出テ居リマスルダ
ケ、其分ガ今日ノ日程ニ上ボリマシタ譯デゴザイマス、残り五件バカリゴザ
イマスルノハ、マダ特別報告ガ出來マセヌカラシテ、何レ不日特別報告ヲ作
リマシテ日程ニ上ボルコトダラウト考ヘマス、院議ニ付スルヲ要セズト議決
イタシマシタモノガ十件デゴザイマス、目下審査中ノモノガ六十件ホドゴザ
イマス、總テ受領イタシマシタ請願ノ數ノ中カラ唯今文書表ヘ掲ゲマシタモ
ノ、件數ヲ掲ゲマシタカラシテ、ソレノ残りハマダ文書表ニ上ボセマセヌ請
願ガ二十五件、通數ニ致シマシテ二十五通殘ッテ居リマス、以上請願委員會
ノ報告デゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、議事日程第三カラ第六
マデ皆豫算ニ關スル件デゴザイマスカラ、東ネテ議題トシテ御異存ゴザイマ
セヌカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第三、明治四十二年度歳入歳出總豫算案
竝明治四十二年度各特別會計歳入歳出豫算案審査期限ヲ定ムルノ件、第四、
豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル件審査期限ヲ定ムルノ件、
第五、明治四十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)審査期限ヲ定ムルノ
件、第六、明治四十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)審査期
限ヲ定ムルノ件、大藏大臣桂侯爵

〔左ノ通牒文ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ玆ニ載録ス〕

明治四十二年度歳入歳出總豫算案竝明治四十二年度各特別會計
歳入歳出豫算案

右本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年二月十三日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スル件

右本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年二月十三日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

(第二號)明治四十一年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年二月十三日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

(特第一號)明治四十一年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

明治四十二年二月十三日

衆議院議長 長谷場純孝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔國務大臣侯爵桂太郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(侯爵桂太郎君) 唯今議場ニ提出ニ相成リマシタ所ノ明治四十二
年度ノ歳計豫算ニ就キマシテ此際諸君ニ御紹介ヲ致スノ光榮ヲ有シマス、明
治四十二年度ノ豫算ニ計上ヲ致シマスル所ノ歳入ハ經常部ニ屬スルモノ四億
七千六百六十七千九百七十圓、臨時部ニ屬スルモノ四千五百五十三万二千八
百二十五圓、合計五億千六百二十万七千九百九十五圓ニシテ歳出ハ經常部ニ屬ス
ルモノ四億九十一万二千二百二圓、臨時部ニ屬スルモノ一億千五百二十八万八
千六百九十三圓、合計五億千六百二十万七千九百九十五圓、故ニ歳入歳出過不足
ナク、而シテ經常歳入ヲ以テ之ヲ經常歳出ニ比較スレバ六千九百七十餘万圓
ノ超過デゴザイマシテ、之ヲ前年度ニ於ケル經常歳入出入ノ關係ニ對照ヲ致シ
マスレバ頗ル良好ナル所ノ狀態ヲ示シマシタ、右ノ外明治四十二年度ノ豫算
ヲ計上セザル費途ニ於キマシテ、明治四十一年度ヨリ繰延ベタル經費ノ内、

千四百一十三萬三千八百三圓、及臨時軍事費特別會計ヨリ繰越シタル經費ノ内、千九百一十一萬二千二十四圓、合計二千六百一十四萬四千八百二十七圓ハ明治四十二年度ニ於テ支出ヲ要スルモノデアリマシテ、前年度剩餘金ヲ以テ之ヲ支辨スルノ經費ニ相成ッタノデアリマス、明治四十二年度ノ經常歲入四億七千六十餘萬圓ヲ以テ、之ヲ前年度豫算ニ比較スレバ三千九百九十餘萬圓ヲ増加イタシマス、此増加ヲ來タス所以ハ主トシテ一般經濟ノ發展ニ伴ヒマシテ租稅、印紙收入、郵便電信收入及專賣益金ノ増加ヲ致シマスルニ依ルノデゴザイマス、又臨時歲入四千五百五十餘萬圓ヲ以テ、之ヲ前年度豫算ニ比較ヲ致シマスレバ九千八百五十餘萬圓ヲ減少イタシマシタ、此減少ヲ來タス所以ハ主トシテ前年度豫算ニ於キマシテハ電話及製鐵事業費ノ財源ハ公債ヲ以テ之ニ充ツルノ經費デゴザイマシテ、其公債募集金ヲ計上ヲ致シマシタナレドモ、明治四十二年度ニ於キマシテハ之ヲ一般歲入ノ支辨ニ移シマシタルガ爲ニ公債募集金ヲ豫算ニ計上ヲ致シマセヌノト前年度剩餘金繰入ノ減少ヲ致シマシタ等ニ依ルノデゴザイマス、明治四十二年度ノ經常歲出四億九千餘萬圓ヲ以テ之ヲ前年度豫算ニ比較イタシマスレバ五百八十餘萬圓ヲ増加イタシマス、此増加ヲ來タシマス所以ハ主トシテ一面ニ於テ既定經費ノ節約減少等モアリマスルガ、又一面ニ於キマシテハ國債整理基金繰入ノ増加、竝ニ既定ノ經費ニ基テ經費ノ増加等ニ依リマシテ差引キ此増加ヲ見ル次第デゴザイマス、又臨時歲出一億千五百二十餘萬圓ヲ以テ之ヲ前年度豫算ニ比較ヲ致シマスレバ、四千四百二十餘萬圓ヲ減少イタシマス、臨時歲出ニ於キマシテハ一面ニ於キマシテ新ニ釧路及敦賀築港費、監獄建築費等ヲ要シ且ツ韓國派遣部隊費ノ月割差額、竝ニ航路擴張費航海獎勵費、電話交換擴張費等ノ増加ヲ要シマスルモ一面ニ於テ既定ノ經費ニ屬スル繼續事業費ノ繰延ヲ致シマシタルト、其他年割額ノ減少ヲスルトニ依リマシテ、差引キ此減少ヲ見ル次第デゴザイマス、明治四十二年度ニ於キマシテハ鐵道ニ關シマシテハ其會計ヲ一般會計ヨリ獨立セシメマスルノ經費ヲ立テマシタル故ニ右明治四十二年度ノ歲出入ヲ以テ之ヲ前年度ノ歲出入ニ比較イタシマスルニ當リマシテハ、對照ノ便宜上、前年度歲入出中ヨリ鐵道ニ關シマスル所ノモノヲ控除イタシマシタ、以上ハ政府ノ提出ヲ致シマシタル豫算案ノ大要デゴザイマスルガ、衆議院ニ於キマシテ多少ノ修正ヲ經マシタ、此修正ノ要點ハ歲出ニアッテハ大藏省所管ニ於キマシテ競馬會補助ニ要シマスル所ノ經費、內務省所管ニ於キマシテ臺灣阿里

山ニ要シマスル所ノ經營費、司法省所管ニ於キマシテハ、判事檢事及辯護士試驗費ト、逓信省所管ニ於キマシテ、諸拂戻金等ニ付キマシテ削除又ハ減額ガゴザイマシタ、歲入ニ於キマシテハ電話度數制採用ニ伴フ收入増加、製材所貸下ニ伴フ森林收入及阿里山經營ノ財源トシテ計上イタサレマシタル一時借入金等ニ於テ削減セラレマシタルノデゴザイマス、抑、此戰後ニ於キマスル財政ノ調理ハ頗ル至難ノ事ニ屬スル次第デハゴザイマスルナレドモ、歲計ヲ確實ニ致シマシテ急激ニ増加イタシタル公債ノ整理ヲ爲スヲ以テ第一ノ急務ト致シマス、之ヲ以チマシテ明治四十二年度ノ豫算ヲ編製スルニ當リマシテハ主トシテ將來ニ互ル歲出入ヲ整理イタシマシテ其均衡ヲ保チ新規公債ノ發行ヲ避ケ其償還金額ヲ増加イタシマシテ以テ財政ノ基礎ヲ鞏固ニシ公債ニ對シマスル信用ヲ厚クシ併セテ一般經濟トノ調和ヲ計ルノ方針ヲ執リマシタ、又歲計ヲ定ムルニ當リマシテハ努メテ經費ノ緊縮ヲ計リマシタ、急切已ムヲ得ザルモノ、外ハ新規要求ハ之ヲ見合セマシテ既定ノ經費ニ屬スルモノデゴザイマシテモ、出來得ル限り之ニ節減ヲ加ヘ又陸海軍費ノ復舊充實等ニ要シマスル所ノ繼續費及其他ノ既定繼續費等ニ付キマシテモ亦事業ノ緩急ヲ計リマシテ、其完成ヲ期シマスルト同時ニ其各年ニ於キマスル所ノ進行ノ程度ヲ財政經濟ノ現狀ヲ調和スル爲ニ出來得ル限り其年限ヲ延長イタシマシテ年割額ヲ減少イタシマシタ、又從來ノ經費ニ依リマスルト、御承知ノ如ク鐵道電話及製鐵事業等ニ要シマスル所ノ費用ハ之ヲ公債ノ支辨ニ屬シテゴザイマス、又臨時軍事費特別會計ヨリ繰越シマスル經費ニ付キマシテモ、公債ノ財源ニ依ッテ之ヲ支辨スル經費ニナッテ居リマシタナレドモ、元來公債ハ市場ノ現況ニ依リマシテ其募集ノ困難ナル場合ガゴザイマスルノミナラズ公債金額ノ増加、公債ノ信用ヲ薄クイタシマスルガ故ニ其回復ヲ計ルニ當リマシテハ先ヅ以テ公債ノ増加ヲ避クルト云フコトガ第一ノ急務ト認メマシタ、ソレ故ニ從前ノ未募集公債ハ全部打切リト致シマシテ其發行ヲ見合セマシタルノミナラズ將來ニ於キマシテモ、從來公債支辨ニ屬シテ居リマスル所ノ事業中、鐵道ニ於キマシテハ、別途ノ經費ヲ立テマシテ其他ハ之ヲ一般歲入ノ支辨ニ移シマシテ其結果、新規公債ノ發行ハ特別ノ性質ヲ有シマスル所ノ臺灣事業公債ノ外ハ當分ノヲ見合セルコト、致シマシタ、公債ニ對スル信用ヲ厚ク致シ其價格ノ回復ヲ計ラムガタメ公債ノ償還額ヲ増加イタシマシテ毎年度少ナクトモ五千萬圓ヲ償還スルノ經費ヲ立テマシタ、明治四十一年度ニ於キマ

スル所ノ公債整理基金ノ繰入額ハ一般會計ヨリ繰入ル、モノ一億五千三百十餘萬圓、帝國鐵道特別會計ヨリ繰入ル、モノ二千九百九十餘萬圓、合計一億八千三百餘萬圓デゴザイマシテ、其内元金ノ償還ニ充ツベキ金額ハ五千八十八萬圓デゴザイマス、シカイタシマシテ次年度以降ニ於キマシテ遞次前年度ノ元金償還ニ依リマシテ利子仕拂ノ減少スベキ金額ヲ更ニ償還基金ニ充テマシテ以テ償還額ノ遞増ヲ致サムトスル考デゴザイマス、帝國鐵道ノ經營ヲ獨立自營ノモノト致シマスルノ方針ニ依リマシテ之ニ適合イタシマスル所ノ特別會計ヲ設置イタシ一般會計トノ關係干涉ヲ避ケシムルノ經畫ヲ立テマシタ、而シテ明治四十二年度ニ於キマシテハ其建設及改良ニ要シマスル所ノ資金ハ鐵道益金ヲ以テ之ニ充ツルノ外、預金部及貨幣整理基金ヨリ之ヲ借入レ支辨セシムルコト、致シマシタ、尙ホ明治四十三年度以降ニ於キマシテモ、當分同一ノ方法ニ依リマシテ之ヲ支辨シ得ルノ見込デゴザイマス、明治四十一年度ニ於ケル我國ノ經濟界ハ一時甚シキ不振ヲ來タシマシタナレドモ近時漸ク順潮ニ復セムトスルノ傾向ヲ生ジマシタ、今年ノ外國貿易ニ付キマシテ一言ヲ致シマスレバ歐米經濟界ノ動搖、銀貨ノ下落等ノ影響ヲ受ケマシテ輸出ノ減退ヲ見タルト同時ニ内地經濟ノ不振ニ依リマシテ輸入モ亦減少ヲ來タシ輸出入總額ハ八億千四百餘萬圓ニ止マリマス、之ヲ前年度ニ比較イタシマスレバ輸出入共ニ約五千餘萬圓ノ減少デゴザイマス、斯ノ如ク貿易額ノ減少ヲ致シマシタルハ商工業不振ノ結果ナリトハ雖モ其前年度ニ於ケル貿易額ガ一時勃興セル企業熱ノ餘波ヲ存シタルヲ顧ミマスルトキハ貿易額ノ一時ノ減少ハ却ッテ我が産業ノ漸次常軌ニ復シマスルヲ示スモノト見ルコトヲ得ル次第デゴザイマス、サウ致シマシテ輸出輸入比較スルニ輸入ノ輸出ニ超過スルコト約五千八百餘萬圓デゴザイマシテ昨年ニ於ケル甚シキ變調ノ時代ニ在ッテ尙ホ輸入超過額ヲ前年度ニ比シマシテ減額ヲ示シマシタルハ寧ろ喜ブベキ事實デアラウト考ヘマス、之ヲ要シマスルニ財政整理ノコトハ頗ル重大ナル問題デゴザイマシテ整理ヲ要スル事項モ亦多岐ニ互リ複雑極メマスルガ故ニ之ガ經畫ヲ立ツルニ當リマシテハ努メテ慎重ナル調査ヲ爲サネバナラスト存ジマス、シカイタシマシテ其實行ニ關シマシテモ亦緩急其宜シキヲ制セネバナラストデゴザイマス、明治四十二年度ノ豫算ニ關シマスル財政ノ整理ハ其最モ急務ナリト認メマスルモノニ付キマシテ之ガ經畫ヲ立テタルモノデゴザイマス、諸君、本大臣ハ尙ホ十分ノ調査ヲ遂ゲテ其整理ヲ要スルト認メマ

スルモノガゴザイマスルナラバ緩急ヲ計リ之ガ經畫ヲ立テ實行ヲ期セムト存ジマス、諸君幸ニ之ヲ諒セラレムコトヲ希望イタシマス、本大臣ハ諸君ガ慎重審議、速ニ協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○伯爵正親町實正君 此日程第三ヨリ第六ニ掲載イタシテゴザイマス豫算案ノ審査期限ハ本日ヨリ三週間、即チ來ル三月ノ九日中ニ審査ノ結果ヲ報告イタスコトニシタイト考ヘマス、此段發議イタシマス

○男爵松平正直君 正親町伯爵ノ動議ニ賛成イタシマス

○子爵三島彌太郎君 正親町伯爵ニ賛成

○議長(公爵德川家達君) 正親町伯爵ノ動議ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵德川家達君) 過半数ト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第七、臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ引換期限ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告……大原伯爵

〔左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス〕

臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ

引換期限ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

明治四十二年二月十六日

右特別委員長

伯爵 大原 重朝

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵大原重朝君演壇ニ登ル〕

○伯爵大原重朝君 唯今議題トナリマシタル臺灣銀行ニ於テ發行シタル一圓銀貨ヲ以テ引換フヘキ銀行券ノ引換期限ニ關スル法律案デゴザイマスガ、昨日委員會ヲ開キマシテ正副委員長ノ選舉ヲ行ヒ直チニ委員會ヲ開イテ議決イタシマシタ、其經過及結果ヲ御報告イタシマス、此問題ハ此間政府ノ委員カラ大略演說ニナリマシタル通りノコトヲ更ニ委員會デ大藏次官ガ演說サレマシタ、ソレカラ其後多少ノ質問ガゴザイマシタ、其質問ノ中ノ一二ヲ申上ゲマスガ、此問題ニ付イテハ臺灣ノ總督府カラ律令ヲ以テ期限ヲ定メ又輸入ナ

ドト云フコトヲ禁止サレタコトガアルカラ此期限モ律令ヲ以テ定メラレタラ可ナルモノデハ無カラウカト云フ質問モ出マシタガ、是ハ臺灣銀行ノ方ガ即チ法律トナツテ出マシタ其結果トシテ法律決メナケレバナラヌト云フ必要ガゴザリマスルカラ今度此法案ガ出マシタ次第ダト申スコトゴザリマス、要スルニ唯今延期スルノ必要ハドウ云フ所ニアルカト申シマスレバ銀行券ノ二万五千四百九十一圓ト云フモノガ引換濟ニナラヌデ殘ッテ居ルノデゴザリマス、是ハ臺灣總督府及銀行當業者ノ申シマスルノニモ全部殘ッテ居ルト云フコトデハアルマイ、消滅シタノモゴザイマス、現今市場ニ流通ハシテ居ラヌト云フコトデゴザイマス、併ナガラ所有者ノ盡ノ底クラキニハ殘ッテ居ラダラウト云フノ想像ガアリマスカラ所有者ニ保護ヲ與ヘマスルニハドウシテモ此期限ヲ延バシテヤラナケレバナラヌト云フ必要ヲ感ジタノデアル、斯ウ云フコトデゴザイマス、尙ホ當年十二月マデノ期限ヲ延期シタトキニハ全部ソレデ引換ガ出來ルカ跡ニ殘ルデアラウカドウデアラウカト云フ質問モゴザリマシタガ、モウ現今マデノ引換殘リト云フモノハ僅ニ帳面上ガ二万五千幾ラト云フモノデアリマスカラ、現今ノ所デ市場ニ出テ居ルモノガアリマセスカラ大抵當年中ノ期限ニ致シマシタラ、モウソレデ行ケルコトデアラウ、其以上ハモウ問ハヌト云フ答デゴザイマシタ、ソレカラモウ質問ガ盡キマシテ表決ニ付シマシタ所ガ全會一致ヲ以テ可決スベシト云フコトニナリマシタ、此段御報告イタシマス、右ノ通り銀行法立テラレタ期限デアッテ銀行法ノ結末ヲ付ケマスル爲ノ延期期限デゴザイマス、極ク單純ナノデゴザイマスカラ讀會ヲ省略セラレテ直チニ決セラレムコトヲ希望イタシマス

○久保市三郎君　チヨット質問ヲ致シマス、圓銀引換ニ關スル期限ヲ十二月三十一日マデ延期スルト云フコトハ分リマシタガ、銀行券ノ基礎タル圓銀ノ始末ト云フモノハ是ハ十二月三十一日マデ延バス必要ハ無イノデアルカ、又圓銀ノ方ハ是マデ通り今日引換期限ヲ付セズトモ始末ガ付ク見込デアルカ否ヤ、其邊ヲ一應伺ヒマス

〔政府委員若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(若槻禮次郎君)　唯今ノ御尋ネノ圓銀ノ方ノ側ハ是ハ既ニモウ通用禁止ヲ致シマシテ其引換ノ期限ハ律令決定メラレテ居リマスノデ、ソレハ來年ノ六月マデデアッタト記憶イタシテ居リマスガ、若シ記憶違ヒデアリマスレバ、アトカラ訂正イタシマス、唯今記憶イタシマス所デハ律令來年ノ六

月限り引換ヲスルト云フコトニナツテ居ルト考ヘテ居リマス

〔政府委員若槻禮次郎君演說中「來年ノ六月マデデアッタト記憶イタシテ居リ」マスガ「云々」ハ「來年ノ四月三十日限りデアリマス」ト訂正スル旨申込マル〕

○伯爵吉井幸藏君　讀會省略賛成

○子爵前田利定君　賛成

○中島永元君　賛成

○伯爵萬里小路通房君　賛成

○伯爵寺島誠一郎君　賛成

○伯爵柳原義光君　賛成

○伯爵大木遠吉君　賛成

○男爵松平正直君　賛成

○加藤正惠君　賛成

○南郷茂光君　賛成

○男爵川口武定君　賛成

○伯爵正親町實正君　賛成

○議長(公爵德川家達君)　大原伯爵ノ讀會省略ノ動議ハ定規ノ賛成者ガゴザイマシタ、讀會省略ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者　多數

○議長(公爵德川家達君)　三分ノ二以上ト認メマス

○議長(公爵德川家達君)　本案特別委員長報告通りデ御異存ゴザイマセスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君)　御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君)　議事日程第八、鐵道速成ニ關スル請願、會議

〔左ノ意見書案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ載録ス以下之ニ倣フ〕

意見書案

鐵道速成ニ關スル件

山形縣西田川郡鶴岡町士族山形縣會議員松平親民外三十二名呈出
右ノ請願ハ新潟縣新發田ヨリ村上山形縣鶴岡酒田秋田縣本庄ヲ經テ秋田ニ至ル羽越海岸鐵道山形縣米澤ヨリ新潟縣坂町ニ至ル羽越橫斷鐵道山形縣船

形ヨリ宮城縣石ノ卷ニ至ル陸羽橫斷鐵道山形縣新庄ヨリ酒田ニ至ル新酒鐵道ノ敷設ハ管ニ同地方ノ交通機關ヲ整備シ其ノ利源ノ開發ヲ促スニ緊要ナルノミナラス我國對外發展上必要ナルヲ以テ之カ速成ヲ期セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 此請願ハ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第九、足尾銅山鑛毒被害地地價修正漏地價修正ノ請願、會議

意見書案

足尾銅山鑛毒被害地地價修正漏地價修正ノ件

群馬縣新田郡生品村平民農廣瀬孫一郎外二十二名呈出

同縣邑樂郡谷村平民農大塚源十郎外百二十五名呈出

右ノ請願ハ請願人等ノ地方ニ於テハ明治三十七年法律第十六號ニ基キ鑛毒被害ノ稀薄ナル土地ニ對シテ特別地價修正ヲ行ハレタルモ却テ激甚ナル被害地ニ及ハサリシハ頗權衡ヲ失スルモノナルヲ以テ此等ノ土地ニ對シテモ亦之ヲ行ハレムコトヲ請願シ兩議院ノ採擇スル所トナリタリト雖未タ其ノ實行ヲ見サルニ付速ニ之カ恩典ニ浴セシメラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵德川家達君) 是モ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十、津山米子間鐵道速成ノ請願、會議

意見書案

津山米子間鐵道速成ノ件

岡山縣苦田郡津山町士族小澤泰外二百七十二名呈出

同縣眞庭郡二川村平民農小谷石藏外千百六十四名呈出

右ノ請願ハ山陰山陽兩道ヲ連絡セシムヘキ津山米子間ノ鐵道ノ敷設ハ單ニ沿道地方ニ於ケル農工商ノ發展ヲ促スニ止ラス一朝國家有事ノ日ニ際シテハ軍事ノ輸送上最緊要ナルヲ以テ之カ敷設ノ計畫年度ヲ繰上ケ速ニ起工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵德川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○伯爵吉井幸藏君 是モ異議ゴザイマセヌ

○議長(公爵德川家達君) 是モ請願委員長ノ報告通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 議事日程第十一、山陰縱貫鐵道速成ノ請願、會議

意見書案

山陰縱貫鐵道速成ノ件

島根縣鹿足郡津和野町長原新七外十一名呈出

右ノ請願ハ山陰縱貫鐵道ノ殘工事タル島根縣今市ヨリ山口縣小郡ニ達スル線路及大峯枝線ノ急設ハ管ニ石見各地ノ運輸交通並經濟ノ均等ナル發達ヲ促スニ必要ナルノミナラス我國對外關係上關クヘカラサルモノナルヲ以テ速ニ該工事ニ著手シ殊ニ今市小郡間ハ同時ニ兩端ヨリ起工セラレタシトノ旨趣ニシテ貴族院ハ願意ノ大體ハ採擇スヘキモノト議決致候因テ議院法第

六十五條ニ依リ別冊及送付候也

明治四十二年 月 日

貴族院議長 公爵徳川 家達

内閣總理大臣侯爵桂太郎殿

○議長(公爵徳川家達君) 此請願モ請願委員長ノ報告通り政府へ送付シテ御
異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 是デ本日ノ議事ハ終リマシタ、次ノ議事日程ハ本
院彙報ヲ以テ御通知ニ及ビマス、本日ハ是デ散會ヲ致シマス
午前十時四十六分散會